

第4回中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル議事概要

日時：令和元年12月19日（木）13：30～14：45

場所：総務省中国総合通信局2階第1会議室

出席者：26名

(1) レビューボード（3名）

- ・中国情報通信懇談会運営委員長 広島大学副学長（情報担当） 相原教授
- ・広島大学 大学院 国際協力研究科 藤原教授
- ・中国総合通信局 本間局長

(1) テーブル（17名）

- ・テーマ2リーダー 岡山県立大学 情報工学部 情報システム工学科 菊井教授
- ・国土地理院中国地方測量部 小野里地理空間情報管理官
- ・中国地方整備局河川部水災害予報センター 伊藤センター長
- ・中国運輸局交通政策部交通企画課 丹呉課長
- ・(一社) データクレイドル 新免代表理事
- ・(一社) データクレイドル 大島理事
- ・(一社) 中国経済連合会 清地常務理事
- ・鳥取県総務部情報政策課 谷口主事
- ・島根県地域振興部情報政策課 広瀬主任主事
- ・西日本電信電話（株）中国事業本部 企画部 山内経営企画担当課長
- ・中国総合通信局 福田情報通信部長、中野情報通信振興課長（司会）
- ・広島県総務局業務プロセス改革課 藤川主事
- ・広島市企画総務局行政経営部情報政策課 浅木課長補佐
- ・岡山県県民生活部情報政策課 庄課長
- ・岡山市総務局総務部 ICT推進課 小谷主査
- ・倉敷市企画財政局企画財政部情報政策課 真鍋主幹

事務局：6名

- ・(一社) 中国経済連合会 瀧口部長、菅原調査役
- ・西日本電信電話（株）中国事業本部 村田ビジネス戦略部門長
- ・中国総合通信局情報通信部情報通信振興課 湯浅、山岡、中垣

### 【議事次第】

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) ラウンドテーブル まとめ(案)の提案 【テーマ1、テーマ2 共通】
  - (2) 中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブルにおける成果
    - ・データセット、
    - ・テンプレート(アウトプット)
    - ・定義書説明
- 3 その他  
来年度活動の提案
- 4 閉会

### 【議事内容】

○まとめ(案)の提案及び成果(データセット、テンプレート、定義書)の説明並びに来年度活動の提案

※事務局から「まとめ(案)」は来年1月の中国情報通信懇談会の最高顧問等会議で説明した後に、正式な報告書として公表するとの説明があった。

### 【意見交換(概要)】

○テーマ2「防災(水害)」

- ・別添2-2-2の行動シミュレーションについて、災害時、住民に最も必要な情報だが、雨の状況など刻々変化する動的情報を加えたものでなければ、情報提供がかえって危険なものになる。動的情報の扱いについて検討しておくべき。
- ・⇒もともと、平常時、緊急時 復旧・復興時の3つの場面を想定していたが、自治体の責任部門から命に関わる緊急時の情報提供はこのテーブルでは検討すべきでないとの意見があり、検討課題からはずした経緯がある。  
動的な情報も反映した情報発信については、責任の所在について問題提起があり、ラウンドテーブルの検討から外した。

○テーマ1「防災(交通)」、テーマ2「防災(水害交通)」共通

- ・データ提供側の体制についての検討が必要である。365日24時間オープン化するのか、一定の条件の時にオープン化するが、そのための準備はしておきましょうとするのか等予め決めておくべき。
- ・課題が全て解決している訳ではないが、災害時にも役立つ施設的な情報や場所等の静的データを平常時に整備しその有効性を理解頂くことが必要との考え方で本年度の活動を進めてきた。いざ災害が発生した後にデータを集めるのは大変で、まず平時に静的情

報を整備しておけば、動的な情報を加えて災害時により有効に活用できるものになると考えている。

**【来年度の活動】**

- データは公表されているが、二次利用ができるようになっていないことも多い。CCBY表示と機械判読の一層の推進が必要。